

いわて建設業みらいフォーラム2024を開催しました

建設技術振興課

岩手県と一般社団法人岩手県建設業協会では、県民の安全で安心な暮らしに果たす建設業の役割や魅力を発信することで、**建設業のイメージアップ**を図り、**次世代を担う若者をはじめとした県民の建設業への理解や関心を高める**ことを目的に「**いわて建設業みらいフォーラム**」を平成25年度から開催しています。

今年度は、令和6年11月25日にトーサイクラシックホール岩手で開催し、**県内の高校生等約300名に参加**いただきました。また、当日のフォーラムの様子をYouTubeにより生配信し、より広く建設業の魅力を発信しました。

オープニングトーク

司会者の千葉星子さんとコーディネーターを務めた県建設業協会青年部連絡協議会会長の木下伸一さんとの間で、地域における建設業の役割や業種などについて紹介しました。



第1部 技術者取組発表

続いて、第1部では県内建設企業で働く若手技術者2名から、仕事内容や初めての工事現場などについて発表いただきました。



▲ 佐々木昌市さん（㈱千葉建設）

最初の現場は建物の周りを整備する「外構工事」であり、その後、東日本大震災復興工事として、「盛土」や「土地の造成工事」などの現場を経験してきました。

土木工事は様々あるので、実際に現場に出ると、工事によってやり方・やることが変わります。

工事現場には多くの人に関わっていますが、最初は「この人は何をやる人なんだろう」「どんな風に作業を進めるのだろうか」とわからないことばかりでした。

先輩や職人さんの話を聞いて工事一つ一つの実務だけではなく、工事全体を見ることができるようになってきました。



▲ 千葉永遠さん（高惣建設㈱）

第2部 パネルディスカッション

パネリストとして、取組発表をいただいた佐々木さん、千葉さんに加え、藤井夏子さん（㈱小原建設）と藤島里帆さん（岩手県北上土木センター）が参加し、コーディネーターの木下伸一さんと建設業の面白さや労働環境などをテーマにパネルディスカッションを行いました。

私が勤める会社の建築を担当する現場代理人は10人いますが、うち2人は女性です。
現場代理人は男性でも女性でもなれる職種と感じています。



▲ 藤井夏子さん（㈱小原建設）

第2部 質問コーナー

参加者を代表して、盛岡工業高校の生徒7名からパネリスト・コーディネーターに対して、建設業で働くうえでの疑問に関する質問がありました。

盛岡工業高校の生徒



一緒に働いたら、元気があり、コミュニケーションがとれる人がいいと言われていますが、具体的に教えてください。

聞こえる声で挨拶をすることが一番だと思います。
その他に気を付けていることは、顔を上げて話を聞くことと頑張っている姿勢を見せることです。



▲ 藤島里帆さん
（岩手県北上土木センター）

ロビー展示

会場ロビーでは県内建設会社による企業紹介ブースやけんせつ小町部会による相談コーナー、ICT建機メーカーによる体験展示が行われました。

参加者は各ブースを積極的に見学し、県内の建設企業について学びを深めていました。

